

0-4-5

AV JOURNAL

2000年 3月 第30号



(テープ・ライブラリー)



目 次

遠隔教育の可能性.....	進藤 修一.....	2
アルマアタのトルコ系言語のテレビ放送.....	藤家 洋昭.....	4
平成11年度テープ・ライブラリー利用統計.....		7
新規購入映像資料（レーザーディスク）一覧.....		10
平成12年度LL教室等時間割表.....		11

遠隔教育の可能性

ヨーロッパII講座 進藤修一

最近国立大学の独立行政法人化をめぐる議論が盛んです。わたしたちを取り巻く状況は非常に厳しいですが、危機は同時に大きなチャンスともいえるでしょう。政治の一方的な都合による不当な行政法人化は避けなければならないのは当然ですが、それは「これから大学が社会においてどのような存在意義を持つべきか」「学生からのニーズにどう答えるか」という大問題を議論しなくてもよいということにはなりません。個人的に見聞きした限り、大阪外大の立地条件が学生に強いている不便は少なくないようにもおもえます。そこで、昨今の爆発的な技術発展にヒントを得て、この問題を解消しうる今後の可能性をいくつかの例をもちいて模索してみようと思います。

1. インターネットによる遠隔教育

大阪外大の立地の問題は、1970年代に郊外移転ブーム時代にのったすべての大学の持つ問題で、どの大学も同様の悩みを抱えています。このことによって外大で具体的に感じる障害とは、まず1時限に授業を置きにくいということです。つまり、遠方からの通学生が出席できない可能性が大きいからです。それから、学生と教官の関係が希薄になりがちなことも挙げられます。学生は教官と直接やりとりをしようとしても、大学までの距離を考えるとなかなか出かける気にはなりません。こうして、必然的にお互いの関係が疎になっていきます。

このような郊外型大学の問題を打開するための可能性を、インターネットが提供してくれるかも知れません。現在のWWWのかたちがまだ揺籃期にあった一九九三年、私が滞在していたドイツの大学ではすでにネットを通じて教材配布を行っていました。これは学生が必要とする資料をダウンロードして各自印刷するという方式で、授業前に学生がめいめい準備をすませておけるという利点がありました。その当時からさらに技術は発展しています。今ではネットを通じて動画や音声の配信も可能です。講義の音声をMP3形式でまとめ、学習者がダウンロードして学ぶということもできますし、インターネット

上でのチャットを利用すれば、ゼミの討論も行うことができます。

アメリカではすでにインターネットを利用したコースを提供する大学が存在します (<http://www.pace.edu/mainN.html>)。この大学では通学制大学と、遠隔教育を平行して行っています。この遠隔教育の方法はアメリカでは「アシンクロナス・ラーニング」と呼ばれているようです。「アシンクロナス」とは情報転送などの技術用語として広く用いられていて、その場合は「非同期」（同時ではない）という訳語が当てられています。

この用語が「アシンクロナス教育」と用いられる場合には「(教師や学友をも含めた意味での)遠隔教育資料を利用するためにコンピュータや通信技術を用いるが、常にオンラインにある必要はない」(<http://www.aln.org/alnweb/aln.htm>) 教育方法をさしています。1998年に文部省の大学審議会マルチメディア教育部会でも、大学と遠隔授業の可能性が議題にされています。そこでも「マルチメディアを活用した授業を行う際には、シンクロナス(同時性)とアシンクロナス(経時性)、シンメトリー(双方向)とアシンメトリー(一方向)という4つの指標がある」(<http://www.monbu.go.jp/singi/daigaku/00000246/>)と指摘されています。このオンラインコースはアメリカではかなり市民権を得てきているようで、さらに詳しい情報はたとえば川淵明美「City Universityにおけるオンラインコース開発」(<http://www.nime.ac.jp/nnl/no10/12p.html>)を参照してください。

日本でも平成12年度に通信制のみの私立大学が開校の予定です(人間総合科学大学、埼玉県岩槻市、(<http://www.human.ac.jp/>))。通信制のみの私立大学は日本で初めての試みのようです。この大学での教育方法は、基本的には教材を自分で学習し、時々開催されるスクーリングに参加するという形式では従来の通信制と変わりはありませんが、コンピュータをもちいたマルチメディア教材を開発し、教育指導はE-Mailでおこなうという形式を取ることをセールスポイントにしています。このような大学はも

はや物理的なキャンパスの必要性はそれほど高くなり、コンピュータ上に仮想的に存在する「サイバーユニヴァーシティ」さえあればよいということになるのでしょうか。

2. CS放送を使用した遠隔教育

最近話題のCS放送やケーブルテレビを利用して、大学教育を提供しようという試みもなされています。Skyperfectv (<http://www.skyperfectv.co.jp/main.html>) の番組表に「Ch205放送大学CSテレビ」や「Ch207 東亜大学学園衛星放送UNIV.CS」というチャンネルが見つかるはずですが、放送大学の授業は首都圏以外では受信ができなかったのですが、CS放送利用によって全国で受信できるようになりました。山口県下関市にある東亜大学も上記チャンネルをつかって無料で公開講座を配信しています。同大学衛星放送ホームページの解説 (<http://www.toua-u.ac.jp/univcs/gaiyo.htm>) にはこの番組が授業に利用されているという記述はありませんが、これはすぐにも遠隔教育に利用できるノウハウでしょう。

3. SCSを利用した遠隔教育

本学にもSCS（スペース・コラボレーション・システム）が導入され、11月11日に開局しました。このシステムは国立大学を中心にした120機関に設置された143局の通信局が衛星で結ばれ、授業や学術会議などに利用しようというものです。このしくみについてはメディア教育開発センターのホームページ (<http://www.nime.ac.jp/index-j.html>) をご覧になっていただきたいのですが、他大学の講義や公開講演を外大にいながらにして聴講できるという基盤が整いました。SCSは平成7年度より整備がはじまったばかりで、実際に授業を行う場合にはまだまだ問題点が多いように思いますが、さまざまな可能性を秘めています。たとえば夜間主や社会人コースをもつ郊外の大学が、都市の中心部にサテライトキャンパスをもつ事例が増えています。しかし、これは教師に移動を強いることになりすし、また、学生をサテライトキャンパスに孤立させることになり好ましいこととはおもえません。ところが、たとえばSCSをサテライトキャンパスに設置すれば、講師は外大で授業をすることができ、受講生は自分

の都合に合わせて、仕事帰りの日はサテライト、時間に余裕のあるときは、図書館の利用などを兼ねて大学で受講ということも可能になります。あるいは他大学と共同ゼミナールを開講することにより、外大生以外の学生と交流を深めることもできます。

4. 遠隔教育の問題点

このように、遠隔教育をおこなう技術は急速な勢いで進歩しています。しかしながら、二つの大きな問題があります。ひとつはこのような方法で実施された授業をどう認定するかという事務的な問題です。日本ではインターネットを通じて与えられる単位を認めていないはずですが、SCSを利用した場合にもこの点の扱いがどうなるかがまだ不明です。もっとも、この点については昨年秋に文部大臣から大学審議会に諮問があり（「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について」）、この中で「情報通信システムを利用した我が国と海外との間の大学教育の発信・受信及び国内外の相互交流の推進方策」 (<http://www.monbu.go.jp/singi/daigaku/00000353/>) を検討するように審議会に求めていますので、近いうちに法整備が行われるのではないのでしょうか。二つ目の問題は授業方法の改善です。従来の講師がただ話すだけのスタイルはここではもう通用しません。このスタイルで一度授業をやってみるとよいでしょう。日常なにげなく見ているテレビが、いかに視聴者の注意を引き付けるために工夫をこらしているかということに気づき、そして、授業における表現能力習得の難しさを実感するはずですが。

5. かんたんまとめ

このように、大学教育を改善するさまざまな可能性があります。これらについて貪欲に情報を収集し、よりよい教育をおこなうべく努力しなければならない時代にさしかかっているのではないかと思われます。本当は、インターネットの普及にともなって日本の大学が直面している一番深刻な問題があります。それは日本の大学自体の存在意義にかんするものなのですが、AVジャーナルの使命を逸脱するものでしょうから、あえてここでは触れないことにいたします。

アルマアタのトルコ系言語のテレビ放送

アジア・アフリカ講座 藤家 洋 昭

民族の十字路シルクロード。そのシルクロードのメインルートからは少しはずれたところにアルマアタという町がある。今から数年前のことになるが、筆者はそこにしばらくの間滞在した。

当時アルマアタはカザフスタンの首都であった(その後、遷都し、現在の首都はアスタナ)。カザフスタンはトルコ系の一民族である、カザフ人の国を意味する。アルマアタでは、ある意味でシルクロードの主人公ともいえるべき、トルコ系各民族の言語(方言)のテレビ放送を見ることができた。トルコ系各言語をのせた電波が飛びかう、いわば電波の十字路である。

以下はそれらトルコ系言語によるテレビ放送の紹介である。

アルマアタで見ることのできるテレビチャンネルはいくつかある。主なものは、「アルマアタ」「アラタウ」「ビシュケク」である(注「主なもの」とは筆者にとってである。必ずしもこれらのチャンネルの視聴率が高いわけではない。現地の人がよく見ているのはロシア語チャンネルである。)。この他に、新しくできた民放やロシアのチャンネルもある。

チャンネル「アルマアタ」は、カザフスタンのメインチャンネルと言ってよい存在である。日本のNHK総合テレビに相当するだろう。

「アラタウ」はいわば民族語チャンネル。基本的にすべての番組がトルコ系言語で行われる。筆者にとってはもっとも価値のあるチャンネルである。

「アラタウ」の朝はウズベク語から始まる。これは、アルマアタで制作しているのではなく、隣国ウズベキスタンのものの中継である。ウズベク語もカザフ語と同じくトルコ系の言語であるが、系統的にはやや遠い関係にあり、お互い話が通じるかどうかはあやしいところである。

「アラタウ」のウズベク語番組は、トーク、音楽、映画などが多い。トーク番組は、政治・教育・農業について対談形式で進行していくものが見られた。もちろん、各分野ともウズベク語が用いられる。音楽番組では、ウズベク演歌ともいえるべき、民族色の強いエスニック音楽がよく流されていた。聞きよう

によっては中近東音楽に聞こえる。映画はウズベク語で作られたものか、あるいはウズベク語へ吹きかえされたものがほとんどで、いずれにせよウズベク語映画である。面白いものに、カザフ語からウズベク語に吹きかえたものがあった。ウズベク語もよく理解するカザフ人の友人がその映画を見ながら「何か変な感じだなあ」と言っていた。

晩7時からはウイグル語の時間。ウイグル語もトルコ系の一言語であり、ウズベク語とかなり近い関係にある。ウイグル人は大多数が中国国内で暮らしているが、一部がアルマアタにも住んでいる。そして、アルマアタにおけるウイグル人の人口は決して多くないものの、ウイグル人たちは各方面で活躍していて存在感がある。外食産業や小売業はウイグル人抜きに語ることはできないし、ウイグル語新聞、ウイグル語劇場もあり、民族文化レベルも高い。全く個人的な印象ではあるが、親切な人が多い。

「アラタウ」のウイグル語放送は、限られた時間を有効に使っている、という感じがある。ニュース、音楽、映画など、番組の種類は一通りそろっている。

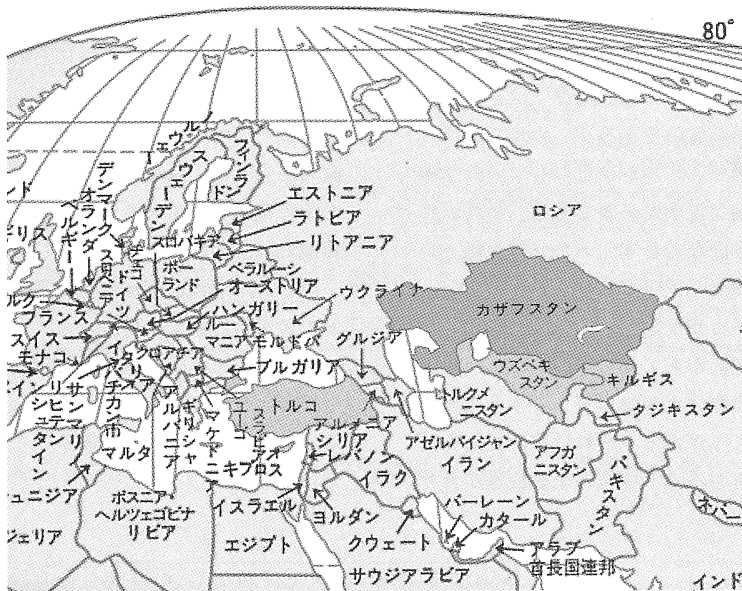
そして、夜11時。トルコのアンカラからの各番組がはじまる。これは、トルコが中央アジアに向けて特別に設けたチャンネルの中継である。放送方式の変換のため、画面が鮮明でないことが残念である。テレビの方式が国によって違うことは案外知られていない。トルコはPAL方式、カザフスタンはSECAM方式のカラーテレビを採用しているため、そのままでは映らない。ちなみに、日本の放送方式はNTSCであり、トルコともカザフスタンとも違う方式である。これは、電波の周波数などではなく、画像をどのようにのせるかの方式の違いなので、たとえビデオに録画しても、PALのものはNTSCで、またその逆も、再生できない。日本が採用している、NTSCは、採用している国の数からいうと、少数派である。テレビの電波は国境を越えて飛んでくることはあまりなく、また外国のテレビを見ようなどというのは、ごく一部の物好きがすることなので、どの国がどの方式を採用しようと、どうでもいいことかもしれない。テレビよりずっとあとになっ

て登場した、インターネットのWWWの世界では、ブラウザのバージョンによる制約はあるものの、基本的には送り手側がどの国にあると、受け手側のパソコンが何であろうと（Windows、Mac、UNIX、インターネットワープロ）、見ることができる。テレビとインターネットではその生い立ちや技術背景が全然違うので、同列に論じることはできないかもしれない。しかしインターネットテレビが実用になれば、CATVも含めて、ユーザーから見たときの違いは少なくなる。テレビの世界でも方式の壁をなくしてもらいたいものである。

話が横道にそれた。

アルマアタのチャンネル「アラタウ」で中継されているトルコの放送は、画質が悪くて見にくいもの

の、さすがに各番組とも洗練されている。トルコ国内向けと同じものであると考えられるニュースから始まり、ドラマ、音楽番組などがある。このなかで、ニュースではトルコであった出来事からトルコ各地の天気予報まであり、いながらにしてトルコの最新情報が



得られる。天気予報ではアルマアタ、タシュケントなどトルコ系諸国の予報もあった。これは中央アジア向けに特別に放送しているものかと思ったが、トルコを訪れた際、天気予報を見ていたら、やはり同じようにアルマアタなどの予報をやっていた。ささいなことではあるが、トルコの姿勢がわかる。

中央アジアに対するトルコの姿勢がわかる番組で特筆に値するものとしては、タイトル画面に馬の駆ける姿を描いた、中央アジアの歴史に関するもの（トルコ人の祖先は中央アジアから来たと信じられている）、中央アジア各国の子供たちをトルコに招待して行なったインタビュー、キルギスの作家のト

ルコでの講演の模様、旧暦の正月をトルコ系各民族が祝っている様子、等があった。

カザフスタンから帰国の途中、トルコのイスタンブールに立ち寄った。テレビではちょうどニュースをやっていた。そこにはアルマアタで見たのと同じ画面があり、見覚えのあるアナウンサーの姿があった。ただ、驚くほど鮮明な映像で、本物を見た思いがした。本物を知らないカザフ人はきっと、トルコの放送は絵がきたない、と誤解していることであろう。

アルマアタでは隣国キルギスの首都ビシュケクの放送もみることができる。キルギス語はウズベク語やウイグル語に比べると、ずっとカザフ語に近い。一方がカザフ語で、もう一方がキルギス語で話して、

相互理解が可能であると言っても言い過ぎではない。

キルギスの放送は、地味な感じがした。熱心に見なかったせいか、あまり印象に残っていない。

さて、地元のカザフ語の放送である。チャンネル「アルマアタ」が日本のNHK総合テレビ

に相当するようなチャンネルであることは先に述べた。それでは「アルマアタ」はカザフ語放送を代表するチャンネルであるかと言えば、残念ながらそうは言えない。番組内容のことを言っているのではない。使用言語のことである。「アルマアタ」は全放送時間のうち、せいぜい半分がカザフ語で行われているにすぎない。残りはロシア語で行われている。ニュースなども、例えば30分の番組であれば、前半15分をカザフ語、後半15分をロシア語、というように、必ず2言語で放送される。番組によってはロシア語でしか行われぬものもある。これではとてもチャンネル「アルマアタ」がカザフ語のメインチャ

ンネルであるとは言えないであろう。カザフ語の番組が少なく、カザフ人はさぞ困っているだろうと思いたくなるが、そんなことは全くない。そもそもアルマアタの町では、カザフ語はほとんど実用にならないのである。カザフ人同士であっても日常の会話にはロシア語を用いることがほとんどである。カザフ語が全く話せないカザフ人も珍しくない。このような状況であるので、カザフ語だけで放送をするチャンネルがひとつもなく、国を代表するチャンネルがカザフ語以外の言語との2言語放送になっているのも理解できる。むしろカザフ語の放送があるだけ立派というべきか。

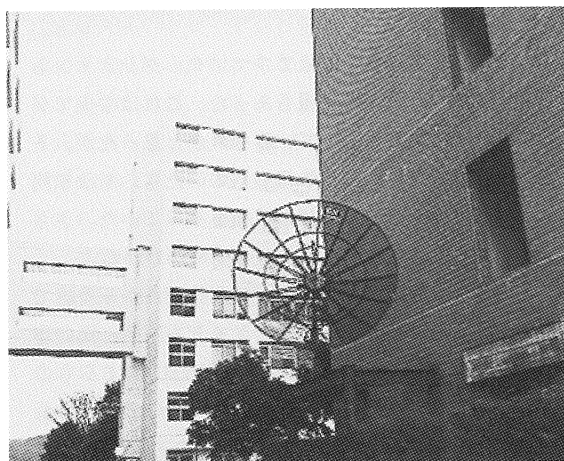
独立後、民放もできた。それら民放は、例外はあるが、特にコマーシャルはすべてロシア語で放送が行われている。民放である以上、なるべく多くの人に見てもらって、採算をとらないといけなから、カザフ語で放送するわけにはいかないのである。

こうしてみると、カザフ語は放送界ではきわめてマイナーな存在と思われるであろう。カザフスタンにカザフ語だけのチャンネルがひとつもないのであるから。これには補足説明が必要である。われわれの常識として、日本語なら日本、トルコ語ならトルコがその放送文化の中心であるということがある。そしてその類推で、カザフ語ならカザフスタンがいちばんであると考えるがちである。無理もないことである。しかし、実際はカザフスタンよりもカザフ語放送の盛んなどころがある。それは東の国境を越えた中国である。もちろん、中国の全国放送がカザ

フ語で行われるわけではない。新疆ウイグル自治区である。新疆ウイグル自治区は、その名前からすると、ウイグル人だけが住んでいるように思われるが、実際は10を超える民族が暮らしていて、その中でもカザフ人はウイグル人に次ぐ人口がある。自治区最大の都市ウルムチには、カザフスタンにはなかった、カザフ語チャンネルが存在する。さらにケーブルテレビにもカザフ語チャンネルがある。つまりカザフ語テレビ放送についてはアルマアタではなく、ウルムチが世界一である。テレビ放送だけではない。出版状況についてみても、店頭に並ぶ本の豊富さは、ウルムチの方が数段上である。例えば10巻本の「カザフ語大辞典」は、ウルムチでは、大きな本屋に行けば見つかるが、アルマアタでは見つけることができない。これは、実際アルマアタにあるすべての本屋を見て回って確認したことなので、間違いはない。

島国に住んでいる私たちにとって、外国語のテレビ番組を見るチャンスは多くない。専門的にはEスポ伝播と呼ばれる、夏場の異常伝播による不安定な画像を見るか、巨額の投資をして、個人で通信衛星からの電波を受信するかである。いずれもマニアの領域で、一般の人が手軽に楽しめるわけではない。

現在、本学には衛星受信設備があり、各研究室などで各国の放送を、何等マニアックな知識を必要とせずに見ることができるになっている。実にありがたいことで、もっと活用されてもよいはずである。残念ながら、トルコ語やウイグル語の放送は映らないが。



(衛星放送受信用パラボラアンテナ)

<LL便り1>

平成11年度テープ・ライブラリー利用統計

1. 月別利用統計

	ビデオ・LD	カセット・CD	パソコン
1月	896	223	229
2月	778	136	430
3月	300	39	170
4月	1,022	138	325
5月	1,731	279	444
6月	2,159	414	690
7月	1,496	258	671
8月	191	22	78
9月	1,442	257	500
10月	1,669	189	678
11月	1,488	262	783
12月	1,387	238	807
計	14,559	2,455	5,799

《視聴覚教育施設利用案内》

1. テープ・ライブラリー
テープ・ライブラリーは、語学テープ、CD、音楽テープ、また、語学、映画、演劇等のビデオ、レーザー・ディスクなどのAV資料の視聴ができます。
- ①利用方法
利用したい資料が見つければ、AV資料請求書に所定の事項を記入し、ライブラリー・カードを添えて提出し、ブースの指定を受け、視聴します。
- ②開館時間
月～金曜日 9:30～21:00
土曜日 10:00～16:00
2. マルチメディアメディア語学自習室
- ①利用対象者
原則として教職員、情報処理科目等受講し、ユーザーIDを所持した学生とします。
- ②図書館4階テープ・ライブラリーのカウンターで所定の手続きを行って下さい。
- ③開室時間
月・水曜日 9:30～12:30
火・木・金曜日 9:30～16:30

*パソコンはマルチメディア語学自習室の利用者数です。

2. 利用の多かった映像資料です。英語以外は利用の多い三作品を紹介します。

<英語>

資料名(制作年) / 監督名 資料番号	利用回数
①恋愛小説家 ('97) / ジェームズ・L・ブルックス E-0867	262
②グッド・ウィル・ハンティング 旅立 ('97) / ガス・ヴァン・サント E-0857	218
③トゥルーマン・ショー ('98) / ピーター・ウイアー E-0890	164
④セブン・イヤーズ・イン・チベット ('97) / ジャン=ジャック・アノー E-0858	163
⑤フェイス/オフ ('97) / ジョン・ウー E-0866	162
⑥L. A. コンフィデンシャル ('97) / カーティス・ハンソン E-0869	161
⑦フル・モンティ ('97) / ピーター・カッタネオ E-0862	151
⑧ベスト・フレンズ・ウェディング ('97) / P・J・ホーガン E-0838	137
⑨ロミオ&ジュリエット ('96) / バズ・ラーマン E-0856	127
⑩ラスト・サマー ('97) / ジム・ギルスピー E-0864	122

<ドイツ語>

- ①ピヨンド・サイレンス ('96) /カロリーヌ・リンク || D-0096
- ②ベルリン・天使の詩 ('87) /ヴィム・ヴェンダース || D-0036
- ③まわり道 ('75) /ヴィム・ヴェンダース || D-0092

<ハンガリー語>

- ①空飛ぶスーツケース ('88) /ヤノシュ・ローザ || Hung-0014
- ②ミダスの手 ('94) /ベレノーニ・ゲーザ || Hung-0022
- ③冬の旅立ち || Hung-0001

<スウェーデン語>

- ①処女の泉 ('60) /イングマール・ベルイマン || Swed-0011
- ②愛の風景 ('92) /ビレ・アウグスト || Swed-0027
- ③野いちご ('57) /イングマール・ベルイマン || Swed-0005

<フランス語>

- ①ボネット ('96) /ジャック・ドワイヨン || F-0319
- ②TAXI ('97) /ジャラルール・ピレス || F-0326
- ③大人は判ってくれない ('59) /フランソワ・トリュフォー || F-0047

<スペイン語>

- ①赤い薔薇ソースの伝説 ('92) /アルフォンソ・アラウ || S-0050
- ②莓とチョコレート ('93) /トマス・グティエレス・アレア || S-0056
- ③カルメン ('83) /カルロス・サウラ || S-0003

<イタリア語>

- ①イル・ポステイーノ ('95) /マイケル・ラドフォード || It-0111
- ②甘い生活 ('60) /フェデリコ・フェリーニ || It-0002
- ③自転車泥棒 ('48) /ピットリオ・デ・シーカ || It-0013

<ロシア語>

- ①戦艦ポチョムキン ('25) /セルゲイ・エイゼンシュテイン || R-0019

- ②罪と罰 ('70) /レフ・クリジャーフ || R-0045

- ③魔女伝説・ヴィー ('67) /コンスタンチ・エルシェフ || R-0004

<日本語>

- ①HANA-BI ('97) /北野武 || J-0269
- ②ラヂオの時間 ('97) /三谷幸喜 || J-0274
- ③スーパーの女 ('96) /伊丹十三 || J-0249

<中国語>

- ①ラヴソング ('96) /ピーター・チャン || C-0308
- ②恋する惑星 ('94) /ウォン・カーウアイ || C-0259
- ③芙蓉鎮 ('87) /謝晋 || C-0064

<韓国語>

- ①族譜 /林権沢 || K-0003
- ②愛の黙示録 || K-0086
- ③砂時計 || K-0075

<タイ語>

- ①蝶と花 || T-0005
- ②ナンバーは死んだ ('84) /ユッタナー・ムクダーサニット || T-0017
- ③田舎の教師 || T-0001

<ベトナム語>

- ①シクロ ('95) /トラン・アン・ユン || V-0016
- ②ニャム ('95) /タン・ニャット・ミン || V-0015
- ③静か過ぎる町 ('89) /レー・ドウック・ティエン || V-0013



(テブ・ライブラリー)

<フィリピン語>

- ①あなたに夢中 ('93) /ホセ・ハヴィール・レイエス || Ph-0052
- ②Working girls/Bernal, Ishmael || Ph-0011
- ③Kakabakaba Ka Ba ? /Leon, Mike de || Ph-0014

<インドネシア語>

- ①青空がぼくの家 ('89) /スラメット・ラハユジェ・ジャロット || In-0032
- ②追いつ追われつ ('86) /ハエルル・ウマム || In-0002
- ③バシコムおじさん ('91) /ハエルル・ウマム || In-0017

<モンゴル語>

- ①マンドハイ ('88) /B・バルジンニヤム || M-0002
- ②至福の禍 ('92) /N・ニヤムダクー || M-0007
- ③牙 ('92) /B・バートル || M-0006

<トルコ語>

- ①群れ ('78) /ゼキ・ウクテン || Tr-0003
- ②いとしのはニーちゃん ('92) /トウンチ・オカン || Tr-0006
- ③少年時代/ムドゥー・ユン || Tr-0005

<インド諸語>

- ①ムトゥ 踊るマハラジャ ('95) /K・S・ラヴィクマール || Tm-0004
- ②大地のうた/サタジット・レイ || Bg-0006
- ③Dil ('90)/Indra Kumar || H-0068

<ペルシャ語>

- ①友だちのうちはどこ ('87) /アッバス・キアロスタミ || P-0025
- ②桜桃の味 ('97) /アッバス・キアロスタミ || P-0053
- ③そして人生はつづく ('90) /アッバス・キアロスタミ || P-0026

<LL便り2>

新規購入映像資料 (レーザーディスク) 一覧

その15

(2000年2月現在)

資 料 名	音 声	資料番号
Lethal Weapon 4 (リーサル・ウェポン4)	(英 語)	E-0388/D
Free Willy 2 (フリー・ウィリー2)	〃	E-0655/B
The Lost World : Jurassic Park (ロスト・ワールド/ジュラシックパーク)	〃	E-0690/B
Scream 2 (スクリーム2)	〃	E-0825/B
Devil's Advocate (ディアボロス)	〃	E-0860
Donnie Brasco (フェイク)	〃	E-0861
The Full Monty (フル・モンティ)	〃	E-0862
I Know What You Did Last Summer (ラストサマー)	〃	E-0864
I Still Know What You Did Last Summer (ラストサマー2)	〃	E-0864/B
Desperate Measures (絶対×絶命)	〃	E-0865
Face/Off (フェイス/オフ)	〃	E-0866
As Good As It Gets (恋愛小説家)	〃	E-0867
Air Force One (エアフォース・ワン)	〃	E-0868
L.A. Confidential (L.A.コンフィデンシャル)	〃	E-0869
A Perfect World (パーフェクト・ワールド)	〃	E-0873
Beethoven's 2nd (ベートベン2)	〃	E-0876/B
Jude (日陰のふたり)	〃	E-0882
Sister Act (天使にラブ・ソングを…)	〃	E-0888
The Man In The Iron Mask (仮面の男)	〃	E-0889

The Truman Show (トールーマン・ショー)	〃	E-0890
The Sheltering Sky (シェリタリング・スカイ)	〃	E-0897
Dead Man Walking (デッドマン・ウォーキング)	〃	E-0898
The Rainmaker (レインメーカー)	〃	E-0899
The Mighty (マイ・フレンド・メモリー)	〃	E-0900
The Horse Whisperer (モンタナの風に抱かれて)	〃	E-0901
Six Days, Seven Nights (6デイズ/7ナイツ)	〃	E-0902
Saving Private Ryan (プライベート・ライアン)	〃	E-0903
Austin Powers (オースティン・パワーズ)	〃	E-0913
City Of Angels (シテイ・オブ・エンジェル)	〃	E-0914
The Thin Red Line (シン・レッド・ライン)	〃	E-0915
Armageddon (アルマゲドン)	〃	E-0916
The Fisher King (フィッシャー・キング)	〃	E-0919
Sling Blade (スリング・ブレイド)	〃	E-0920
Addicted To Love (恋におぼれて)	〃	E-0921
Hope Floats (微笑みをもう一度)	〃	E-0922
Snake Eyes (スネーク・アイズ)	〃	E-0923
春光乍洩 (ブエノスアイレス)	(広東語)	C-0307
甜蜜蜜 (ラヴソング)	〃	C-0308
Jenseits Der Stille (ビヨンド・サイレンス)	(ドイツ語)	D-0096
Ponette (ポネット)	(フランス語)	F-0319
Taxi	〃	F-0326
Hana-Bi	(日本語)	J-0269
ラヂオの時間	〃	J-0274
Muthu (ムトゥ 踊るマハラジャ)	(タミール語)	Tm-0004
Life And Art / Maria Callas (ライフ&アート/マリア・カラス)		X-0011
Maria Callas At Covent Garden, 1962&1964 (コヴェント・ガーデンのマリア・カラス)		X-0012
Maria Callas, Debuts A Paris (「歌に生き、恋に生き」/マリア・カラス)		X-0013

衛星放送受信のお知らせ

衛星放送受信室では、下記の衛星放送を受信し、UHFのチャンネルに変調して送出しています。

各放送は、テープ・ライブラリーだけでなく、A、B棟の各共同研究室でも24時間視聴が可能ですのでご利用下さい。

チャンネル (UHF)

13ch	CNN
15ch	中国語放送
17ch	ロシア語放送
21ch	放送大学
25ch	NHK衛星第2放送
27ch	NHK衛星第1放送

平成12年度 LL教室等時間割表

9:10~10:40 10:50~12:20 13:10~14:40 14:50~16:20 16:30~18:00 18:10~19:40 19:50~21:20

		1	2	3	4	5	6	7
月	4-I	S/沖原		DM/クヴィスト	C/上神	DM/クヴィスト		F/小沢
	4-II	B/南田	B/フラミン	C/張	H/溝上	院/林田		E/スターク
	5-I	DM/斉藤	E副/ドランス	E副/ドランス	E副/ドランス	E副/ドランス	E/浅井	F/安生
	5-II		PB/林田	F/西尾	F/西尾			
	3VR		院/クヴィスト	PH/ジョイ		UR/松村		
	AVホール			UR/松村		DS/石黒		
火	4-I			K/朴		S/ルビオ		
	4-II		H/チャットゥルベディ	H/チャットゥルベディ	TR/キタウラ	C/張		
	5-I		PB/林田	M/塩谷	PB/林田			
	5-II		IT/郡	IT/郡	IT/郡			
	3VR					IT/中江		
	AVホール					教育心理/三雲		
デシジョン	C/待場	C/待場			C/杉村			
水	4-I	P/ラジャブ	C/山崎	C/上神	D/吉満	D/吉満	D/本河	R/神山
	4-II	TR/藤家	V/富田	S/千葉	E/スターク	R/神山	R/北岡	
	5-I	C/古川	IT/郡	C/山崎	R/神山	E副/伊勢	C/上神	C/青野
	5-II	F/スカルフィ	SW/トゥーレ	F/スカルフィ	E/船山	IT/郡		
	3VR	PB/ローザ	PH/大上	K/朴	K/朴	C/張		
	AVホール					総合/扇		
	デシジョン				E/船山(後)			
5MU				院/郡				
木	4-I	IT/ラヴァリア	R/神山		UR/タバッサム	P/ラジャブザータ		
	4-II		V/富田			IN/アイブ		
	5-I		E/舟阪					
	5-II		B/南田		IT/ラヴァリア	DM/福居		
	3VR		PH/ジョイ		DM/クヴィスト			
	AVホール	PH/ジョイ	女性学/武田			自然地理/福本		
金	4-I	HG/早稲田	HG/早稲田	IT/井本	C/宿		D/甲田	S/松本
	4-II	T/宮本マ	PH/大上	D/友田	D/友田	M/今岡		E/藤田
	5-I	SW/トゥーレ	E/舟阪		E/藤田	E副/新屋敷		E/松村
	5-II		PH/ジョイ					
	3VR	PB/ロザ	PB/ロザ	K/朴				
	AVホール			E/有井	R/富浪	保/太田		

AV Journal —第30号—

2000年3月27日発行

編集 大阪外国語大学視聴覚教育委員会
附属図書館視聴覚資料係

発行 大阪外国語大学

印刷 (株)ユニワールド印刷センター